

第 96 回メーデー宣言（案）

本日、私たちは第 96 回連合山口県央地域協議会メーデーを開催した。

2025 年、節目の年。私たちは、過去に学び、現在を^{いま}を考え、未来を見据える^{あした}年になければならない。

能登半島地震発災から 1 年が経過した。

未だ被災地・被災者は平穏な日常を取り戻せていない。阪神・淡路大震災から 30 年。この間、幾多の自然災害に見舞われ、年々激甚化・頻発化している。一人ひとりが防災・減災の意識を高め備えなければならない。

私たちは、災害の記憶を風化させることなく、被災地・被災者に寄り添った支援を継続し、これからも支え合い・助け合い運動を展開していく。

戦後・被爆 80 年。決して戦争の記憶を風化させてはならない。

世界は今、「対立と分断」の道を突き進んでいる。戦後の多国間主義や国連中心主義が揺らぎ、世界経済や国際秩序は混沌の度合いを増している。私たちは、働くものの雇用やくらしを守るとともに、世界の働く仲間と連帯を強め、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、平和運動を力強く進めていく。

私たちは、賃上げがあたりまえの社会をめざし、2025 春季生活闘争を展開している。

企業規模間、雇用形態間、男女間の格差是正と労務費を含む適切な価格転嫁、適正取引を徹底し、地場の中小企業や、労働組合のない中小・小規模事業所にも賃上げのすそ野を広げていかなければならない。

労働組合があるからこそ要求し、労使対等な交渉が可能となる。労働組合の意義と必要性を社会全体に浸透させ、仲間づくりを強力に推し進めていく。

普通選挙法の成立から 100 年。女性参政権が認められて 80 年。そして男女雇用機会均等法施行から 40 年。私たちは、自由・平等・公正で平和な社会をめざしてきた。引き続き、信頼ある政治の実現をめざすとともに、一人ひとりが尊重され、多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない社会をともに築いていこう。

次代につなぐ 平和の願い！

みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな^{あした}未来を！

以上、ここに宣言する。

2025 年 4 月 26 日
第 96 回連合山口県央地域協議会メーデー